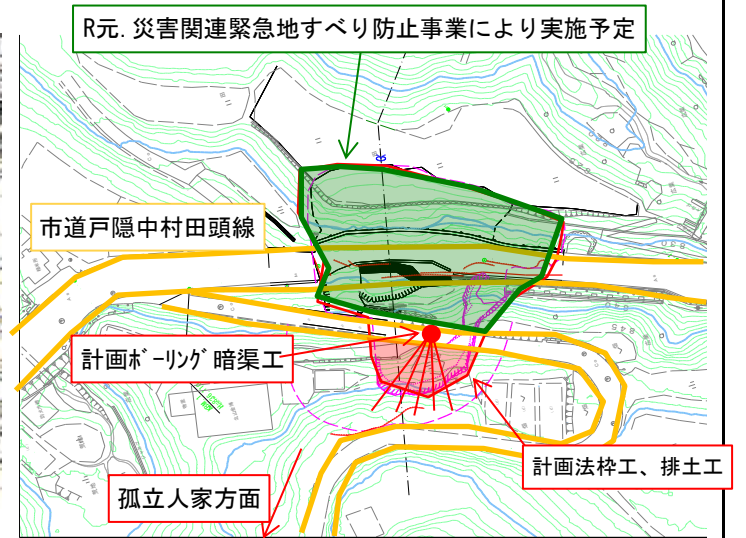


(様式1-2)新規評価シート

林務部 森林づくり推進課

事業名		地すべり防止事業		路河川名等		—			
事業毎の通番		市町村名		長野市		箇所名(ふりがな)			
						母袋(もたい)			
事業概要	事業目的	当該地区は林務所管の地すべり防止区域に指定されており、平成31年2月24日に発生した地すべりにより市道戸隠中村田頭線が被災し人家2戸が一時孤立状態となった。当該路線は戸隠地区を東西に結び、市営バス路線にもなっている重要な道路である。地すべり活動は未だ終息しておらず、今後の降雨等により被害が拡大する恐れがある。このため令和元年度災害関連緊急地すべり防止事業により初期の斜面安定を図る予定であるが、更に本事業により地すべりを終息させ、民生安定を図る。							
	しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け	4-1 県土の強靱化(災害に強いインフラ整備)		事業実施の根拠法令等		地すべり防止法			
	関連する事業、計画等	長野市道災害復旧事業							
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	人家2戸、市道1,000m							
	着手年度	2020年度(令和2年度)	事業期間	3年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)			
完成年度(見込み)	2022年度(令和4年度)	費用対効果	1.6		国庫	その他	県債	一般財源	
全体事業内容(主な工種)	山腹工0.20ha(ボーリング暗渠工、法枠工 他)			68,000	34,000		30,000	4,000	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	人家、市道の保全							
	間接的効果(定量的・定性的)	地域住民のライフラインの確保							
評価の視点	必要性	○人家戸数: 2戸 ○公共施設数: 市道1,000m ○災害時要援護者関連施設の有無: なし ○保安林・林業用施設: 土砂流出防備保安林(14%)						評価	B
	重要性	○過去の災害履歴: あり(H31.2.24) ○交通遮断による地域経済への影響: 影響度大 迂回路のない市道のため孤立世帯が発生 ○地域防災計画上の位置づけ: 長野県地域防災計画・長野市地域防災計画						評価	A
	効率性	○費用対効果(B/C): B/C=1.61 ○事業期間: 3年(小規模面積の地すべり) ○工法等の比較検討: 検討あり						評価	A
	緊急性	○地すべり滑動度: H31.2.24に地すべり災害が発生 ○地すべり変状: H31.2.24に地すべり災害が発生 ○下流の堰堤等の整備状況: あり(概ね満砂)						評価	A
	計画熟度	○事業情報の共有: R元.6.4に母袋地区の住民を対象に説明会を開催 ○地域の取り組み: 協力的である ○地域の合意形成: 事業目的について合意形成が図られている ○住民との協働: なし ○PDCA:事後評価 課題整理表:1-5 地元調整の実施						評価	A
所管課意見	当該地は、平成31年2月に地すべり性崩壊が発生し、市道が被災したことにより、人家が一時孤立する被害が発生した。地すべり活動は終息しているものの、今後の降雨により地すべりが再活動し、保全対象に被害を及ぼすおそれがあることから、対策工を実施する必要がある。						採択状況	総合評価	
技術管理室意見	所管課の意見が妥当であると判断する。						○	A	
県の評価案	事業着手	評価監視委員会意見	—	評価の決定	事業着手				

位置図



【整備の必要性がわかる状況写真等】



事業周辺環境	①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当該地区は林務所管の地すべり防止区域に指定されており、平成31年2月24日に発生した地すべりにより市道戸隠中村田頭線が被災し人家2戸が一時孤立状態となった。当該路線は戸隠地区を東西に結び、市営バス路線にもなっている重要な道路である。また、地すべり活動は未だ終息しておらず、今後の降雨等により被害が拡大する恐れがある。そのため、本事業により地すべりを終息させ、民生安定を図る。		
	②地域からの要望経緯及び地域の関わり	地すべり活動が終息していないため、住民から早期の対策の要望がある。		
	③事業説明等の経緯	R元年6月4日に関係者との説明会を行い、了承を得ている。また、その際に早期の事業化を要望されている。		
	④他事業・プロジェクトとの整合、関連	長野市による市道の災害復旧の予定があり、本事業により地すべりを終息させた後、長野市の災害復旧事業を行うことで調整済である。		
	⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	なし		
	⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により、市道通行の安全確保及びライフラインの確保ができる。		
	⑦その他	抑制工と抑止工の比較検討を行った結果、抑制工が経済的に有利となったことから、抑制工を主体とした事業を実施する。		
事後・再評価からのフィードバック	事後1-5 当該地すべりにより、市道が被災し人家が孤立したことから、事前に地権者及び関係者と情報共有を図り、市道災害復旧工事及び人家の孤立を防ぐための仮設道工事の実施者(長野市)と施工範囲やスケジュールの調整を行った。		事業代表地点の緯度経度	北緯:N 138° 3' 54" 00 東経:E 36° 41" 55